

## 乗鞍岳の火山活動解説資料（平成 23 年 3 月）

気象庁地震火山部  
火山監視・情報センター

2011 年 3 月 11 日に発生した「東北地方太平洋沖地震」以降、乗鞍岳周辺では地震活動が活発な状況となっていました。その後、地震活動は低下してきています。

火山性微動の発生等、直接噴火活動に関連するような変化は認められておらず、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

平成 19 年 12 月 1 日に噴火予報（平常）を発表しました。その後、予報警報事項に変更はありません。

### ○ 活動概況

#### ・噴気など表面現象の状況（図 2）

乗鞍高原（乗鞍岳の東北東 7 km）に設置にしてある遠望カメラでは、山頂部に噴気は認められませんでした。

#### ・地震活動（図 3、図 4※）

2011 年 3 月 11 日に発生した「東北地方太平洋沖地震」以降、乗鞍岳北部を震源とする地震活動が活発化しましたが、その後地震活動は低下しています。今期間、震度 1 以上を観測する地震が 5 回発生し、最大の地震は 13 日 20 時 23 分に発生したマグニチュード<sup>1)</sup> 3.4 の地震で、岐阜県高山市で震度 2 を観測しました。

火山性微動及び低周波地震は観測されませんでした。

1) マグニチュードは地震の規模を示します。資料中のマグニチュードは暫定値で、後日変更することがあります。

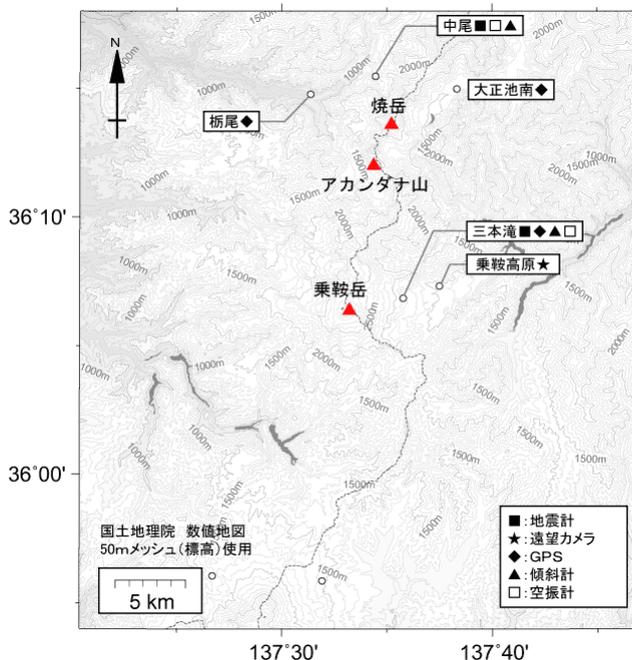


図 1 乗鞍岳 気象庁の観測点配置



図 2 乗鞍岳 山頂部の状況  
(3月28日 乗鞍高原遠望カメラによる)

この火山活動解説資料は気象庁ホームページ (<http://www.seisvol.kishou.go.jp/tokyo/volcano.html>) でも閲覧することができます。次回の火山活動解説資料（平成 23 年 4 月分）は平成 23 年 5 月 10 日に発表する予定です。

※この記号の資料は気象庁のほか、京都大学、名古屋大学、東京大学及び独立行政法人防災科学技術研究所のデータも利用して作成しています。

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『2万5千分1地形図』『数値地図25000(行政界・海岸線)』『数値地図50mメッシュ(標高)』を使用しています(承認番号:平20業使、第385号)。

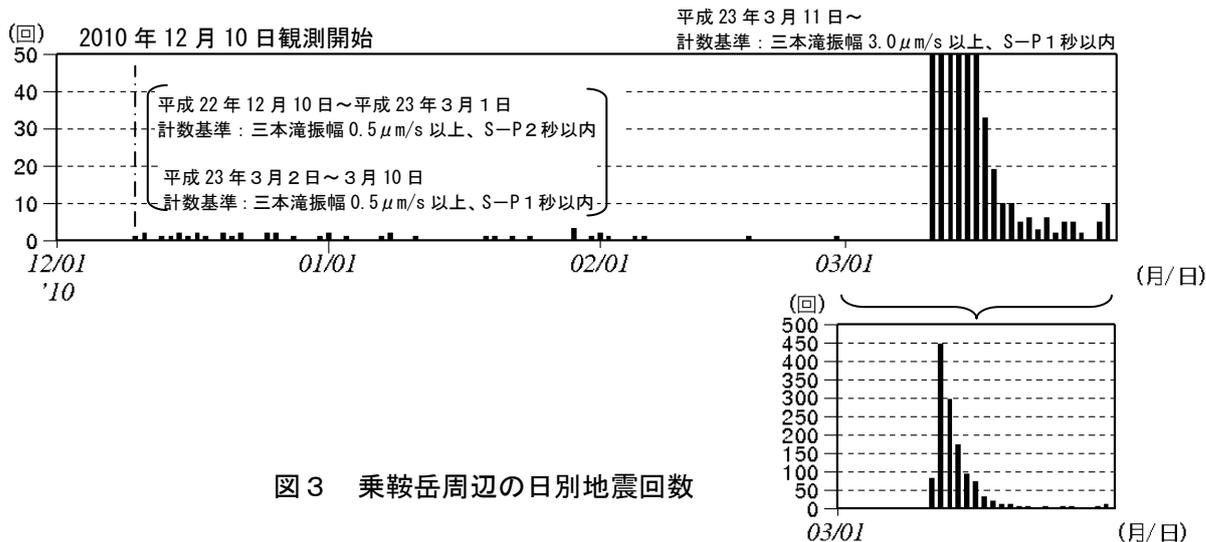


図 3 乗鞍岳周辺の日別地震回数

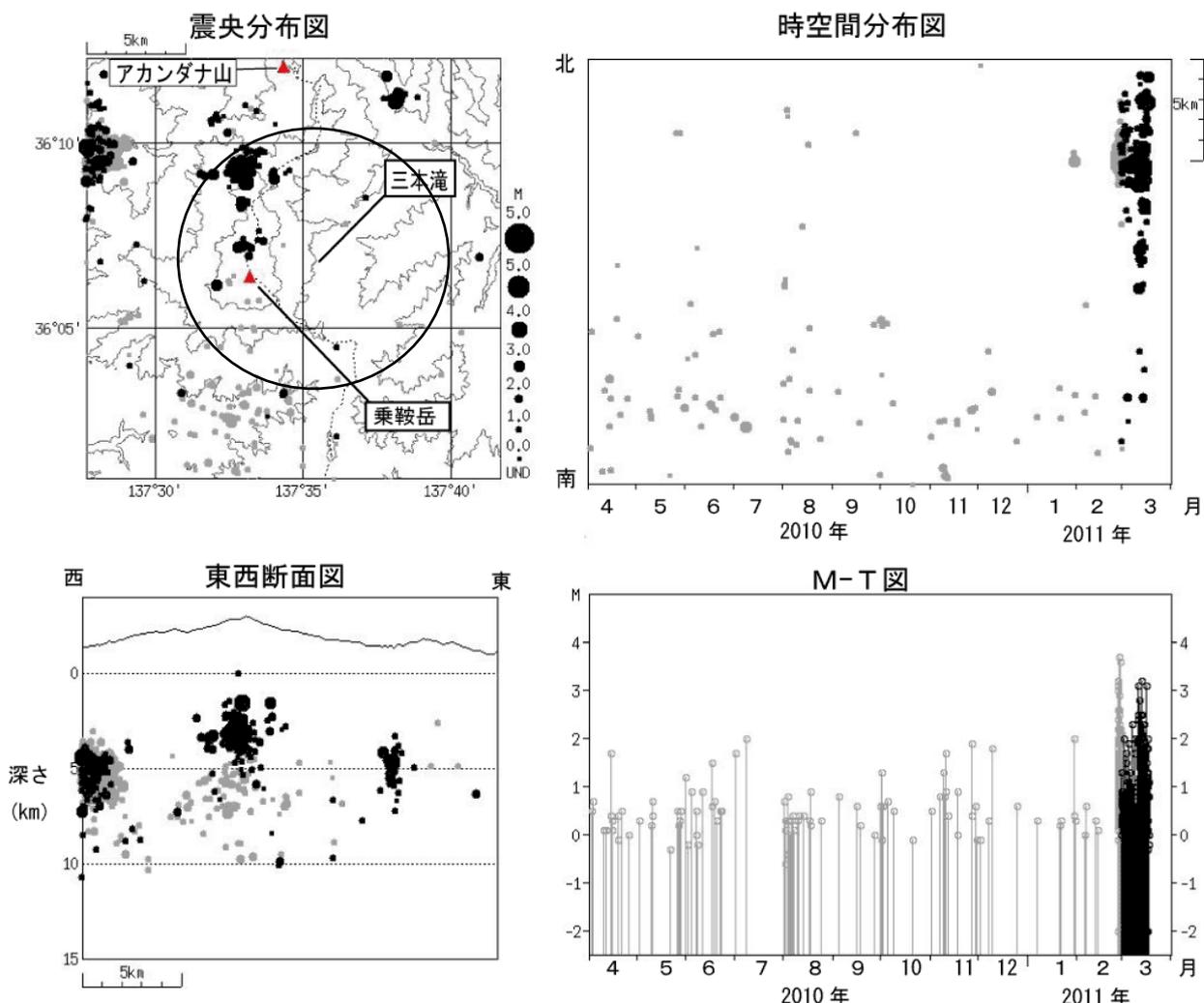


図 4※ 乗鞍岳 広域ネットによる山体・周辺の地震活動(2010 年 4 月 1 日～2011 年 3 月 31 日)

● : 2010 年 4 月 1 日～2011 年 2 月 28 日

● : 2011 年 3 月 1 日～3 月 31 日

震央分布図中の円は図 2 の計数対象地震 (三本滝で S-P 時間 1 秒以内) のおよその範囲を示す

M (マグニチュード) は地震の規模を表します。

3 月分は一部未処理の期間があります。

図中の震源要素は一部暫定値が含まれており、後日変更することがあります。